

住まいの知恵袋

住宅用防災機器

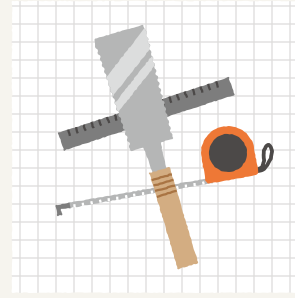


2006年から新築住宅への設置が義務化された「住宅用火災警報器」。煙式と熱式があり、寝室や階段、台所に設置して火災を早期発見します。電池式と配線式があり、10年を目安に交換が推奨されています。初期消

火に欠かせない「住宅用消火器」は、粉末式やエアゾール式、強化液式など用途に応じて選択でき、キッチンや廊下などアクセスしやすい場所への設置が重要です。ガス漏れを検知して音で知らせる「ガス警報器」は、都市ガス用とプロパンガス用があります。「感震器」は地震の揺れを感知してガスを自動遮断し、二次災害を防ぐ役割を担います。近年注目の「住宅用スプリンクラー設備」は、戸建住宅向けの簡易型も登場し、自動散水で延焼を防ぐ効果があります。

、できた！／簡単DIY

DIYで失敗を防ぐ基本の「キ」



DIYの成功は準備で決まります。まず「測る・切る・組む」の原則を守り、測定は必ず2度以上行いましょう。簡単でもよいので設計図を描くことで、完成イメージを明確にすることで手順ミスを防げます。寸法だけでなく、組み立て順序や必要な金具類もメモしておくことで作業がスムーズです。木材は湿度で伸縮するため、購入後は作業場所で数日馴染ませてから使用すると精度が向上します。特に反りやすい材料は平らな場所で保管しましょう。また、切断面の仕上がりは工具の切れ味に左右されるため、刃物のメンテナンスも重要です。のこぎりは定期的に目立てを行いましょう。道具への投資を惜しまず、安全第一で作業することが、満足のいく作品づくりへの近道となります。

DIYの成功は準備で決まります。まず「測る・切る・組む」の原則を守り、測定は必ず2度以上行いましょう。簡単でもよいので設計図を描くことで、完成イメージを明確にすることで手順ミスを防げます。寸法だけでなく、組み立て順序や必要な金具類もメモしておくことで作業がスムーズです。木材は湿度で伸縮するため、購入後は作業場所で数日馴染ませてから使用すると精度が向上します。特に反りやすい材料は平らな場所で保管しましょう。また、切断面の仕上がりは工具の切れ味に左右されるため、刃物のメンテナンスも重要です。のこぎりは定期的に目立てを行いましょう。道具への投資を惜しまず、安全第一で作業することが、満足のいく作品づくりへの近道となります。

お金の豆知識

年収の壁



パート・アルバイトの収入が一定額を超えると、税金や社会保険料の負担で手取りが思うように増えない「年収の壁」。従来の所得税がかかる103万円の壁は、2025年分から基礎控除の引き上げにより160万円に変更されます。他にも社会保険料がかかる106万円・130万円の壁があり、これらを意識した働き方の計画が重要です。

おしえて！ Dr.住まいる

虫干し

虫干しは衣服や書籍だけでなく、住まい全体の健康維持にも重要です。晴れた日に家じゅうの窓を開けて風の通り道を作り、湿気を追い出します。クローゼットや床下収納も扉を開放することで空気が循環し、カビやダニの発生を効果的に防げます。定期的な虫干しは快適な住環境を保つための大切な習慣といえるでしょう。

暮らしの1ポイント

中秋の名月

2025年の中秋の名月は10月6日。中秋の名月をめぐる習慣は平安時代に中国から伝わったとされ、旧暦8月15日の月を愛でる風流な行事として貴族の間で親しまれました。江戸時代には庶民にも広がり、お団子やススキを供えて豊作を祈願します。現在でも「十五夜」として親しまれ、日本の美しい文化として受け継がれています。

